

寺谷の森から楊梅山 実施報告書

実施日： 6 月 22 日（日）

天候： 曇り

参加者： 7 名 青木、川鍋、園田、中原、細田、牧野、田中

行程： 阪急高槻市駅 9：00→寺谷町バス停 9：40→寺谷の森入口 9：50→成合新鉄塔 10：20
→楊梅山展望広場 11：20→クスノキ広場 12：00→ヤマモモ広場 12：10（弁当休憩）13：10 出発→
神峯山寺 13：30（境内散策）14：00 出発→原立石バス停 14：20→JR 高槻駅 14：40

参加者 7 人。天候は曇り、時々薄日射す。9 時、阪急高槻市駅集合、寺谷町行バスに乗車（1 名は、JR 高槻駅から同じバスに乗車）。終点の寺谷町で下車。徒歩 10 分で寺谷の森入口に至る。

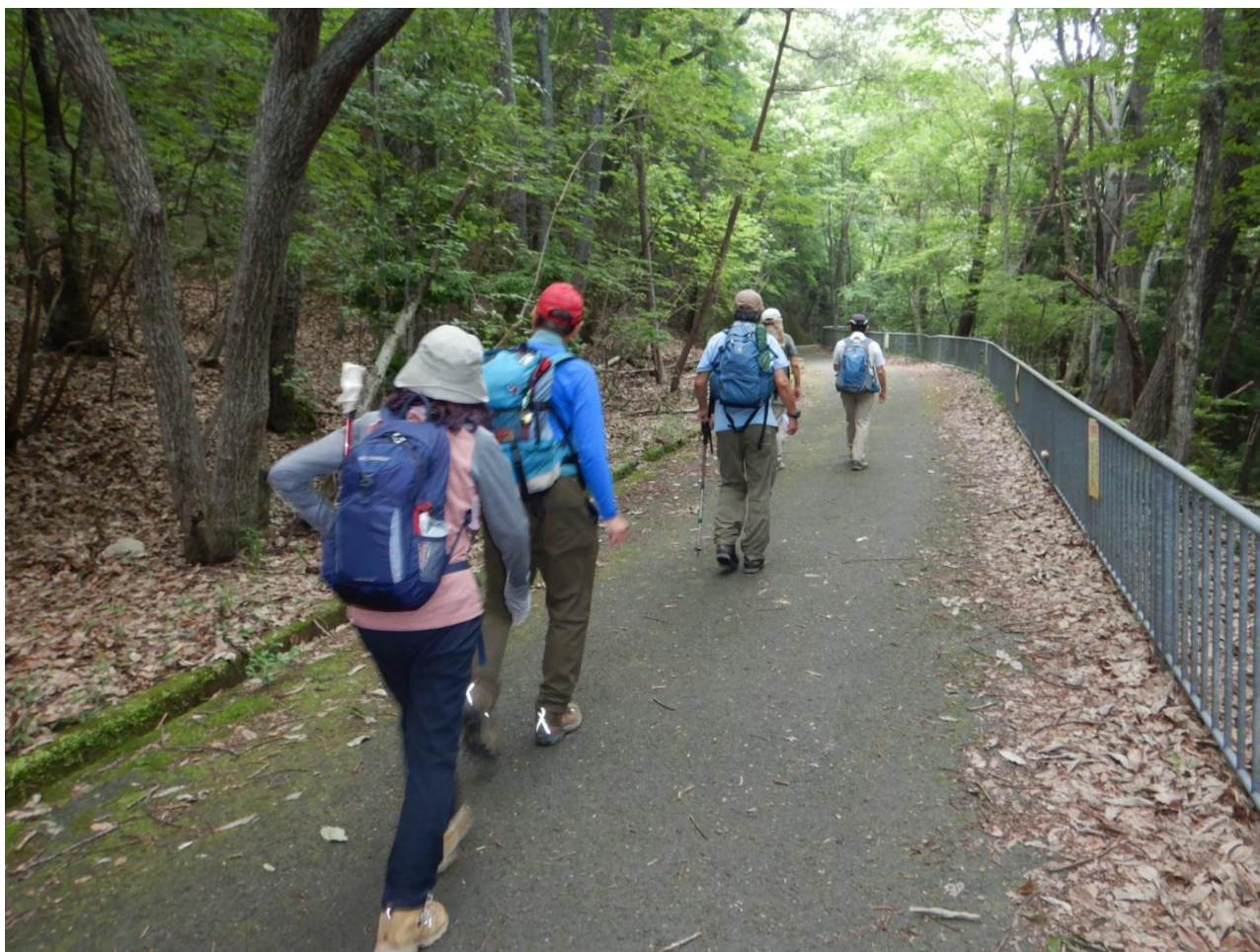
この辺りは日陰で、少しひんやりするほど涼しい。一帯は、いわゆる里山であり、今は近在の山好きが時折歩く程度で、細い頼りなげな踏み跡をたどって、山に入って行った。地元集落の共同墓地を通過して、寺谷の森の東尾根を 30 分程歩くと新名神高速道路建設のため移設された成合新鉄塔に到着。ここからは、新名神高速道路の高架が間近に見え、寺谷の森も一望できる。

小休止の後、道なき道を 10 分程下り、新名神高速道路の高架をくぐって、楊梅山の廃林道に入っていく。溪流沿いの涼しいが落石や倒木で荒れた廃林道を進んで、丸太橋が朽ちて渡れなくなった溪流を渡渉して、今日のルートで一番の急登に取り付く。登った先は展望の良い丘で、休憩ベンチがあり、天気良ければ千里中央から大阪市内一帯が望める。今日はあいにく霞んで、梅田のビル群やあべのハルカスははっきりとは認識できない。ベンチのすぐ脇には、ヤマモモの木があり、沢山の実をつけていたが、収穫までは 1 週間ほどかかりそうであった。因みに、楊梅とはヤマモモのことである。

ここからは緩やかな登りを約 40 分歩いてクスノキ広場に至る。立派なクスノキが立ち並ぶ斜面に 10 人以上座れそうな丸太のベンチが数本設置されており、ボランティアさん達が、集まって休憩したり、森の音楽会を楽しんだりしていると聞いている。さらに 10 分ほど歩いてヤマモモ広場に至る。樹齢 100 年は越えそうな巨大な株立ちのヤマモモの樹がある広場には、しっかりしたテーブルとベンチが数台設置されている。ここで弁当休憩することにした。涼しい風が吹き抜けて、心地よい休息ができた。

ゆっくり休んだ後は、枯葉が積もった山道を下り、府道高槻・亀岡線から本山寺至る車道に登り返して神峯山寺境内に至る。神峯山寺は、役行者開場の日本最初の毘沙門天安置霊場で、1300 余年の歴史ある古刹である。暫く境内を散策して原立石バス停に向かい、2～3 分待ちで来たバスで、JR 高槻駅に戻った。駅前のビルの中にあるレストランで、軽くビールを飲んで散会した。

なだらかな丘陵地帯の山行で、私の山歩きアプリでは 4 時間 40 分、7.3Km、累積標高差登り 375m、下り 347m と軽ハイクであった。しかし、概ね曇りとは言え、やはり夏の低山は暑さがこたえる。結構脚から全身に疲れが回り、下山後のビールが体に染み渡った。



1, 終点の寺谷町バス停から、摂津一宮神社の奥の突き当たりまで舗装道を進む



2, 突き当たりから踏み跡をたどり山に分け入る



3, 鉄塔で小休止



4, 尾根を次の成合新鉄塔目指す



5, 成合新鉄塔手前で新名神が見える



6, 成合新鉄塔から下り、新名神をくぐり、向こうの山に分け入る



7, 渡渉もあり



8, 揚梅山への上り



9, 揚梅山ヤマモモ広場に到着



10, この広場でお弁当



11, 揚梅山ヤマモモ広場で、大きなヤマモモの木の前で全員



12, 神峯山寺山門で全員